

共同リリース



本プレスリリースは、メドライン・ジャパン合同会社、鈴木株式会社の共同プレスリリースです。
重複して配信される場合がございますこと、予めご了承くださいませますようお願い申し上げます。

2018年7月4日
メドライン・ジャパン合同会社
鈴木株式会社

メドライン・ジャパンと鈴木

SUD再製造事業化における共同研究を推進

メドライン・ジャパン合同会社(東京都文京区、代表執行役員社長・長谷川智裕、以下「メドライン」)と、鈴木株式会社(静岡県静岡市、代表取締役社長・鈴木健一郎、以下「鈴木」)は、この度、再製造単回使用医療機器の事業化に向けて、共同研究を推進していくことで合意しました。

再製造単回使用医療機器とは、単回使用医療機器(一回に限り使用できることとされている医療機器 Single-use device :SUD)について、医療機関において使用された後、医療機器の製造販売業者がこれを収集し、検査・洗浄・滅菌等の処理(再製造)を行い、同一の使用用途の単回使用医療機器として再び製造販売するというものです。

米国においては2000年代初頭より、EU諸国でも2017年5月に再製造に係る規制を含む医療機器規則(MDR)が施行されるなど、再製造単回使用医療機器に係る制度がすでに導入されていることなどを踏まえ、日本でも2017年7月に法改正が施行されました。そのような中で、メドラインと鈴木では、双方のノウハウを活用し、病院経営のコスト削減に寄与すべく研究、推進をまいります。

■メドライン・ジャパン合同会社について

米国メドライン・インダストリーズの日本法人です。医療機関向けに手術準備キット、手術用・検査用手袋、ガウン、ドレープ、個人防護具などの医療用品を製造・販売しています。高品質で付加価値のある医療用品の提供を通じ、医療従事者の感染防止と患者ケアによるQOL向上に貢献します。

詳細は弊社ウェブサイト(<http://www.medline.com/jp>)をご覧ください。

■メドライン・インダストリーズについて

1966年にイリノイ州マンデレインにて創業し、全米最大規模の医療用品を製造・販売する医療機器製造メーカーです。医療機器再製造事業も手がけ、35万点に及ぶ製品を有しており、グローバルネットワークは90カ国に渡ります。その多くの製品は全世界でトップクラスのシェアを誇ります。近年、米国 Becker 誌において“ヘルスケア業界で働きやすい会社ベスト150”にランクインしています。

■鈴与株式会社について

1801年、廻船問屋・播磨屋で創業し、現在約140社で構成される鈴与グループの中核会社。200年を超える歴史を持つ総合物流会社として、お客様に高度なSCM提案や最先端の物流ソリューションの提供を行っています。医療機器物流におけるノウハウを活かした「医療機器トータルアウトソーシング」では、クリーンルーム内での作業受託など製造の一端と物流を融合させる新しいビジネスモデル構築などに果敢に挑戦しております。詳細は弊社ウェブサイト(<http://medical-logi.suzuyo.co.jp>)をご覧ください。

※鈴与グループ:物流、商流、建設、食品、航空など幅広い事業領域に挑戦し、皆さまの暮らしをサポートしています。

<本件に関するお問合せ先>

メドライン・ジャパン合同会社 マーケティング部

担当: 阿部 Tel: 03-5842-8866

Email: takako.abe@medline.com

鈴与株式会社 経営企画室 広報チーム

担当: 岡野谷、高畑

Tel: 054-354-3019

Email: zz200@suzuyo.co.jp